

2013年7月16日

各 位



## 防湿性複合発泡シートの開発に成功

積水化成工業株式会社（本社：大阪市北区西天満2-4-4社長：小野恵造）は、従来の発泡ポリスチレンシート（以下PSP）では大きな課題であった水蒸気透過性を大幅に低減させた、業界初\*の防湿性複合発泡シートの開発に成功しました。

この開発により、PSP市場の拡大が期待できます。

\* 当社調べ

### 1. 開発の背景

近年の容器・搬送トレーには安心・安全が求められており、特に食品の劣化防止や工業部品の錆び防止には、空気中の水蒸気が容器・搬送トレーの中に入りにくくする防湿性が必要とされます。

例えばカップに入った食品では、かやくの吸湿防止のために、通常中袋が使用されていますがコストアップの要因になっています。

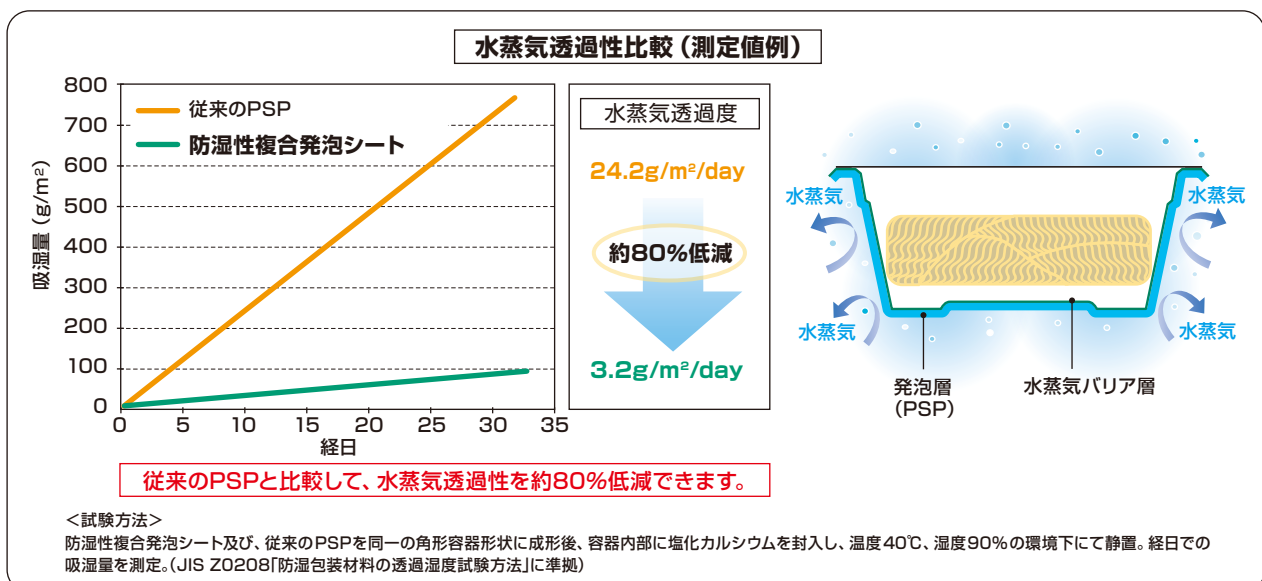
また、キャベツ等のフリーズドライ食品が直接充填されている場合には、変色を防止できる期間が短い傾向がありました。

そこで当社では、上記の課題および市場ニーズに対応するために、PSPに防湿性樹脂を積層した複合発泡シートの開発を進めてきました。

### 2. 防湿性複合発泡シートの特長

当社の開発した防湿性複合発泡シートは、下記のような特長があります。

- ①従来のPSPでは大きな課題であった水蒸気透過性を、約80%低減できます。
- ②深絞り熱成形性は従来のPSPと同等の性能を維持しています。
- ③耐油性・耐薬品性に優れています。
- ④発泡体ですので断熱性・緩衝性があります。
- ⑤印刷フィルムとのラミネート加工も可能です。



### 3. 用途展開

次のような用途での展開を目指します。

◎やきそば・ラーメン・うどん等カップ麺容器

※かやくの中袋廃止と、フリーズドライ食品が直接充填されている場合の吸湿による変色を抑制できます。

◎スープ・春雨・ラーメン等のタテ型カップ容器

◎防湿性・緩衝性を要求される工業部品搬送トレー

### 4. 事業展開

今後は、次のような事業展開を行っていきます。

◎PSPの耐熱性を向上させることにより、電子レンジにも対応する防湿容器を上市します。

◎バリアフィルムとの積層により、バリア性能（酸素バリア性、保香性、容器外部からの臭い移り防止性）を付加した機能性容器を展開します。

以 上

<お問合せ先>

積水化成工業株式会社 総務グループ（広報）

TEL：06-6365-3014 E-mail：m01271@sekisuiplastics.co.jp